

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 5月12日

【評価実施概要】

事業所番号	270101140		
法人名	社会福祉法人桐紫苑		
事業所名	グループホームこうばた		
所在地 (電話番号)	〒030-0943 青森県青森市幸畑字谷脇214-1 (電話) 017-738-8080		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年1月29日	評価確定日	平成21年5月12日

【情報提供票より】(平成20年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 1月 10日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	15 人	常勤 11人, 非常勤 4人, 常勤換算	14.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 ~ 30,000 円	その他の経費(月額)	冬期 6,000 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	26 名	男性 7 名	女性 19 名
要介護1	5 名	要介護2	9 名
要介護3	6 名	要介護4	6 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	83 歳	最低	64 歳
		最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	降矢内科医院、ミナトヤ歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

「自然の環境の中で、地域の人達と交流を持ちながら、家庭的でやさしく明るく笑顔でふれあい、尊厳を持って見守り支援します」を理念に掲げ、全職員は理念を共有し実践に日々取り組んでいる。利用者が安心して生活できるよう、自室とホールが直結され寂しい思いをしないように配慮されている。家庭的な雰囲気は保たれ、笑顔で言葉掛けをし、やさしく丁寧な対応がなされている。行事(毎月の誕生会等)に地域の支援で踊り・落語・合唱等が披露され楽しんでいる。デイケアに天然温泉があり利用できるのも、希望者は温泉入浴を楽しんでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題は概ね改善されているが、2ヶ月に1回の運営推進会議の開催や全職員が権利擁護について学べる機会、段階的な研修計画の面では、今後の取り組みに期待したい。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の意義を理解され、全職員で話し合い責任者がまとめている。改善点はミーティングや会議等で話し合い、評価を活かせるよう努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	市町村との連携は図られているが、運営推進会議には市役所職員が参加されておらず、2ヶ月に1回の会議も実施されていないので、実施することによってサービス向上に活かすことを望む。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	利用者の暮らしは月1回の便りや面会時・電話等で報告され、金銭の出納に関しても個々に合わせた報告がされている。苦情担当者が掲示され意見箱も設置されている。何でも言ってもらえる雰囲気作りに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の人達と気軽に声を掛け合える状態で、ホームの行事へも地域の方が参加され交流が持たれている。地域への行事参加は家族の協力を得ながら参加され、地域との交流に努めている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「こうばたの自然の環境の中で、地域の人達と交流を持ちながら、家庭的でやさしく明るく笑顔でふれあい、尊厳を持って見守り支援します。」を理念に掲げ努力されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を見やすい所に掲示し、ミーティングや会議等で周知しながら、日々取り組みをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の人達と気軽に声を掛け合い、敬老会や誕生会に家族・婦人会・幼稚園・小学校等と交流を持っている。見学者を受け入れ、地域の行事へも家族の協力を得ながら参加され、地域との交流に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価については全職員が理解され、話し合いをして責任者がまとめている。改善点はミーティング等で話し合い、評価を活かせるように取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は行われているが、2ヶ月に1回行われず市役所職員が参加されていない。会議の内容は職員に周知され、話し合いはなされている。</p>	○	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議を行い、市役所職員が参加され、サービス向上に活かすことを期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>出来るだけ市役所へ足を運ぶよう心掛け、事業所の現状を報告したり、分からない点を相談したりして連携がとれるよう努め、サービス向上を目指している。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>一部の職員は研修に参加されているが、他の職員が学ぶ機会がない。</p>	○	<p>研修に参加できない職員に、ホーム内研修等で学ぶ機会を持たせることを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止のマニュアルが作成されており、日々の生活の中で虐待のない安らぎのある生活が出来るよう努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用者や家族に事前にホームを見てもらい、納得の上で利用している。契約時には希望・要望を尋ね、丁寧に十分説明し、理解と納得の上で契約を交わしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>利用者の暮らしぶりや健康状態は月1回の便りや面会時に報告し、電話での報告もされている。金銭については、所持金預かり票や領収書は家族へ送り、個々にあわせた報告をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱が設置されており、苦情相談担当者を掲示し、いつでも相談できる体制が取られている。又、面会時や電話等で問いかけをし、何でも言ってもらえる雰囲気作りをしている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人ではあまり異動はないが、職員が代わる際には利用者の動揺を最小限に抑えるよう、引継ぎの面で最善の努力をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内での採用時研修は行われているが、段階に応じての研修がなされておらず、研修計画も立てられていない。	○	研修計画を立て、段階に応じての研修が受けられる機会を確保することを期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワークがあり、他ホームを見学し意見交換等を行い交流を持ち、サービスの質を向上させる取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族と相談をして、馴染みの物を持参してもらい、自宅の環境がある程度継続でき、安心して生活出来るように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者に尊厳を持って接し、コミュニケーションを図りながら、助け合い学び共感して、支え合う関係づくりに努めている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人・家族とのコミュニケーションの中から趣味や意向を把握して、介護計画に取り入れている。又、困難な場合は、本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の意向を把握した上で、職員の会議等で気付きや意見等を出し合い、検討した上で介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回の見直しをすると共に、状態変化や本人・家族からの要望等があった場合には、職員等で検討して柔軟に対応している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	温泉入浴希望者については、デイケアの温泉を利用して入浴を行っている。家族の希望等により通院介助や外出支援を柔軟に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望のかかりつけ医となっている。ホーム医の往診があり、年1回の健康診断を行い適切に支援されている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入院の際にはケースワーカーと話し合うと共に、医師とも連携を図っている。又、重度の状態の時には併設の老人保健施設入所の相談もされ、全員で方針を共有している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>声掛けはさりげなく行い、一人ひとりのプライドを傷つけないよう心掛けている。個々の状態にあわせて尊厳をもって対応し、プライバシーに配慮されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースに合わせ寄り添い、体調に配慮しながら本人の気持ちを尊重し、個別性のある支援がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備及び片付けが出来る方には手伝ってもらっている。職員も一緒に食事をし、会話をしながら楽しい支援がされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>個々の入浴希望を把握して入浴支援している。又、温泉入浴希望の方は、デイケアの温泉入浴が利用できるよう支援されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事作り・折り紙・編み物等、一人ひとりの経験力に合わせ支援している。午後の余暇活動は利用者がやりたいことを引き出し、気晴らしが出来る支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>家族との外出・花見・公園への散歩等利用者に合わせ、希望にそった支援がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束をしないという認識を持って、常に心身の自由を奪っていないかを確認しながら実践している。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけていない。玄関に鈴・センサーが取り付けられ、所在確認ができるよう工夫されている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し年2回、消防署の協力のもと、避難訓練を行っている。運営推進会議等に地域の協力要請を働きかけている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューは併設の老人保健施設の管理栄養士がたてている。利用者の希望を取り入れながら、栄養バランスの取れたメニューとなっている。又、利用者の状態に合わせて調理され提供されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルが作成されており、日々手洗い及びうがいを呼びかけ、利用者及び全職員がインフルエンザの予防接種を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(1)居心地のよい環境づくり					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は室温・明るさ等適度に調節されている。ホールには写真や利用者の作品が掲示され、季節の草花等も飾られており、居心地良く過ごせる工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には馴染みの使い慣れたものが、持ち込まれており、本人が安心して過ごせるような配慮がなされている。</p>		

 は、重点項目。